



遠大勵志

【第100回高校野球岩手大会】

★2回戦結果

【岩手日報7/13(金)朝刊より】

黒沢尻北 010511011・・・10

一関第二 000200100・・・3

黒沢尻北は二回に押し出しで先制。四回は中野の右前適時打など打者9人の猛攻で一挙5点を奪った。佐藤は被安打4、3失点で完投した。

一関二は四回に菅原優の適時二塁打などで2点、七回にも1点を返したが、打線のつながりを欠いた。

▼黒沢尻北、「心技体」で勝負

2年ぶりに初戦を突破を果たした黒沢尻北は、冬場に鍛えた「心技体」で勝負した。菊池大樹(3年)は「守備の良いリズムが攻撃につながった。雨は気にならなかった」と声を弾ませた。ピクイニングは四回に訪れた。エースで4番の佐藤龍生(3年)が左前打で出塁し、四球と安打で無死満塁。中野寛司(2年)の右前打で2点を挙げると、打線につながり5点を奪った。

勝利は豪雪地帯の西和賀町で敢行した冬合宿の成果。重りを担いだり雪上を走るなど体づくりに取り組んだ。新岡秀一郎監督は「雨でも雪でも練習してきた結果。つらいことをやり切った自信が選手を強くした」と手応えをにじませた。

【黒沢尻北】 打安点 (2時間59分)

⑦ 杉 沢 颯	4 1 2
H 高 橋 賢	1 0 0
3 高 橋 礼	1 1 0 (二塁打)
② 平 野	4 1 0
⑤ 小 田 島	4 1 2 (二塁打)
⑧ 杉 沢 昂	5 1 0 (三塁打)
① 佐 藤	5 2 1
③ 八重樫 海	2 1 0
⑨ 佐 々 木	4 3 0
③ 中 野	2 1 4
⑥ 菊 池 大	2 1 1

★3回戦結果

【岩手日報7/16(月)朝刊より】

盛岡市立 0100021002・・・6

黒沢尻北 1001020000・・・4

黒沢尻北、延長力尽きる

【評】盛岡市立は延長十回、安打と敵失、犠打で1死二、三塁とし、広田が中犠飛を打ち上げて勝ち越し。さらに暴投で1点加えて2点差とし、その裏で相手の攻撃を押さえて競り勝った。

黒沢尻北は、初回に先制して接戦に持ち込んだが、相手の2番手を打てず、七回以降は本塁が遠かった。

▼178球熱投実らず

中盤まで先手を取りながら惜敗した黒沢尻北。主戦佐藤龍生(3年)は炎天下の延長戦で178球を投げ抜いた。十回の相手決勝点の犠飛を「(コースは)甘くなかったかな」と振り返ったが「最後に自分が踏ん張りきれなかった」と責任を負った。佐藤は1年の夏のマウンドに立ち、今夏の2回戦で初めて勝利をつかんだ。新岡秀一郎監督は「相手のミスにつけこんだり、うちの展開と感じていたが・・・」と無念さをにじませながらも、エースの熱投には「ナイスピッチングだった」と賛辞を惜しまなかった。

【黒沢尻北】 打安点 (2時間50分)

⑦ 杉 沢 颯	4 1 0
H 高 橋 賢	1 1 0
② 平 野	4 0 0
⑤ 小 田 島	3 1 0
⑧ 杉 沢 昂	2 1 1
① 佐 藤	4 0 0
③ 八重樫 海	4 1 1
⑨ 佐 々 木	2 0 0
④ 中 野	4 0 0
⑥ 菊 池 大	4 0 0



野球部のみなさん、本当によく戦ってくれました。お疲れ様。残念ながら、私は、12日の初戦は、市内の「新規高校卒業者の人材確保に関する情報交換会」、15日の第2戦は、14、15日の両日にわたる「第5回進路多様校躍進会議」に参加のため、どちらの試合も戦いのグラウンドに駆けつけての直接応援ができませんでした。本当に申し訳ありません。

特に15日は、北上に向かう新幹線に乗車中に皆さんの試合が行われていました。スマートフォンで絶えず、高校野球速報を眺めて、どきどきはらはらしながら、逆転してはこのまま行け〜と心の中で声援を送り、同点で迎えた8回裏と9回裏には攻撃の様子を想像しながら、得点を挙げるように念を送っていました。

試合というものは、勝利すれば多少のミスがあっても次につながる経験となるのですべてがオツケー。しかし、負ければすべてのプレーが、もしあの時あーしていれば……と、後悔につながることも多いものです。今、野球部の3年生のみなさんは、マネージャーも含めて、後悔と悔しさの気持ちが大きいとは思いますが、この経験が長い人生の中で生かされる時がきっとあります。次のステージに向けたスタートを切ることを願っています。応援部員のみなさんも、12日は野球部の勝利を信じて、学校から花巻球場まで5時間近くかけて歩いて応援に臨んでくれました。在校生のみなさんも、2つの学年応援ずつではあったけれども、野球部の勝利のために全力で応援してくれたと聞いています。勝利のために全校が一つになった瞬間が確かにありました。

本当に素晴らしいゲームを有り難うございました。

短冊に願いを込めて

3学年で、1階職員室前の西階段のところに、笹が結びつけられ、3年生が思い思いの夢を短冊に書き込んで、飾っています。読ませてもらいました。

たくさんの願いが書かれています。実現するように、一人一人が頑張ることを願わずにはいられません。

いくつか紹介します！(*^▽^*)

★成長したい

★ワイファイが届きますように

★学力向上

★第一志望大学の合格通知がほしい

★動く点Pが消滅しますように

★EXILE、AAA、JUMP、嵐のアニバーサリーツアーに行けますように

★恒久の世界平和



食育講話開催

10日(火)5時間目に、中部保健所の管理栄養士の方を講師としてお迎えし、1学年対象に、黒陵会館において、食生活を通じた健康作りの大切さについて講話を頂きました。



花巻・北上地区

求人情報交換会

【7/6(金)付 岩手日報記事より】

花巻雇用開発協会、北上雇用対策協議会など主催。参加企業は前年より33社多く過去最多の126社、高校は県内34校。それぞれがブースを設け、企業側は高校ブースでパンフレットを手に業務や待遇などを説明した。

公共職業安定所館内の6月末の新規高卒者対象の求人数(速報値)は、花巻が472人(前年同期比18.3%増)。北上市に新工場を建設する東芝メモリ岩手が建設する東芝メモリ岩手が290人の求人を出した北上は2.1倍の897人へ大幅に伸びた。これに対し、新規高卒者の就職希望者数は前年同数の552人(花巻217人、北上335人)で求人とのギャップが広がっている。

男子5千mA

高橋尚弥(黒沢尻北出)7位

【7/15(日)付 岩手日報記事より】

陸上ホクレン中長距離チャレンジ最終戦は14日、北海道の士別市営陸上競技場で行われ、男子1万mは大迫傑(ナイキ)が28分26秒41で優勝した。大迫は日本記録を持つ5000mのBにも出場し13分53秒01で1位。同種目のAはドミニク・ランガット(コニカミノルタ)が13分34秒60で勝った。高橋尚弥(安川電機、黒沢尻北高-東洋大)が13分57秒0で7位となった。